

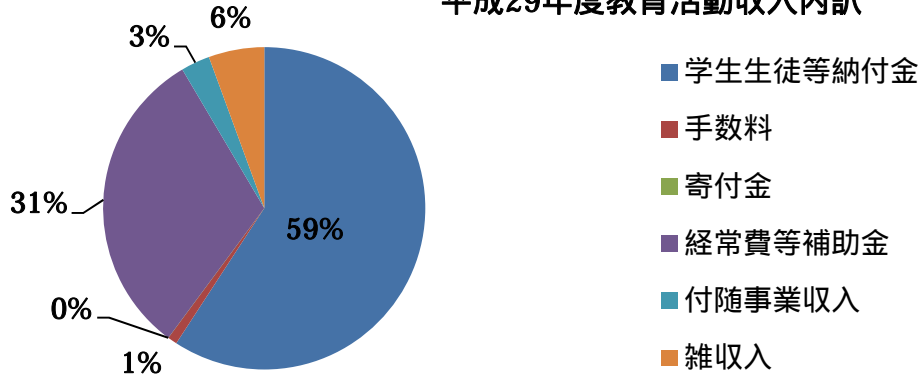
## 【長崎短期大学 H29 年度決算について】

### 1. 本学の経常収支表

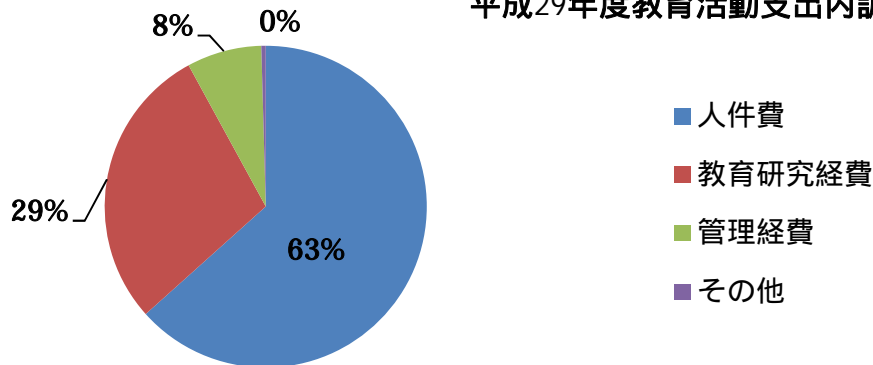
平成 29 年度の教育活動収支の概略を下記の図表に示します。

科目	H27決算	H28決算	H29決算	(千円)
				前年差異
学生生徒等納付金	455,338	476,206	482,794	6,588
手数料	7,689	7,638	7,751	113
寄付金	932	4,388	85	-4,303
経常費等補助金	226,799	243,707	267,938	24,231
付随事業収入	23,698	19,685	23,600	3,915
雑収入	2,753	14,096	45,534	31,438
教育活動収入計・・・	717,209	765,720	815,680	49,960
人件費	374,510	415,921	439,267	23,346
教育研究経費	194,438	195,187	198,959	3,772
管理経費	57,635	58,307	51,975	-6,332
その他	206	3065	3004	-61
(教育研究経費減価償却額・・・)	(42,656)	(50,472)	(55,267)	-4,795
(管理経費減価償却額・・・)	(2,999)	(3,005)	(2,437)	568
教育活動支出計・・・	626,789	672,480	693,205	20,725
教育活動収支差額・・・	90,420	93,240	122,475	29,235
(減価償却除く・・・)	136,075	146,717	180,179	33,462

平成29年度教育活動収入内訳



平成29年度教育活動支出内訳



### 2. 本学の財務状況（平成 29 年度）

ここ数年、学生数が増加し、学生生徒等納付金が増加しています。さらに、私立大学等改革総合支援事業の採択等により国庫補助金が増加した事もあり、昨年度より収入が 5,000 万円増加しました。

また、支出におきましては、学生数の増加に伴い、教育研究経費及び人件費が増加しておりますが、管理経費を抑えた事により、過去 3 年をみましても連続して黒字化を達成し、財務基盤の安定化が保たれています。

今後とも、安定した財務基盤を維持し、教育研究活動の発展に努めて参ります。

### 3.平成 29 年度に行った事業の特記事項

#### 新実習室の誕生



取得した経営強化の国庫補助金で短大の玄関先に新しい実習室を開設しました。学生から施設の名称を募り、その中から選ばれた「Pelch (ペルチ=フランス語で止まり木)」の愛称で親しまれ、製菓コースのカフェ学実習にとどまらず、普段は学生の憩いの場所・アクティブラーニングの場所として使用されています。学生以外にも、系列校の高校生や専攻科生、地域住民の方にも開かれた場所として活用されています。

#### 合同講義室の改修



取得した改革総合支援事業の国庫補助金で、短大の第一合同講義室を改修しました。ホワイトボードを撤去し、壁自体に自由に記述が出来るようにし、プロジェクターを移動式から天井固定式へと交換しました。また、前方にだけ設置されていた上下式のスクリーンを、天井から吊り下げ式に換え、後方席の学生も見えやすくなり、定員 100 人の保育学科の学生が快適に受講できる環境となりました。可動式の机・椅子の為、自由に教室の形態を変える事ができ、授業のみならず、地域活動の一環としても幅広く活用されています。